

自然環境



ECOの取り組み

若者の環境意識と「行動」への道



これからの未来を生きる人たちにとって、地球環境の悪化はたいへん切実な問題です。効率性や便利さが優先され、使い捨てを不思議に思わなかった世代とは違い、今の若者は地球の危機をより敏感に感じているようです。ただ、環境に対する意識の強さが、十分に行動に結びつきづらい面もあるようです。



月刊 Earth Citizens 地球市民



2023
4月号

環境問題に対する若者の意識

ベネッセコーポレーションが2021年10月に実施した調査では、環境問題に対して「かなり重要」と答えた子ども（小学生～高校生）が59.5%にのぼりました。親の42.5%よりも高い結果になりました。子どもの88.6%が環境問題に対して行動していきたいと感じており、62.4%がもっと環境問題について学びたいと回答しました。

また、野村證券が2020年に行った調査では、「SDGs」や「ESG投資」という言葉へ

の認知度は若い世代ほど高く、環境や社会への貢献度を重視する傾向がありました。SDGsとは、世界各国が一致して定めた「持続可能な開発目標」。ESG投資とは、「環境(Environment)」「社会(Social)」「企業統治(Governance)」に配慮した投資や経済活動を指します。

若い世代が最も危機を感じているのは、やはり気候変動です。旭硝子財団が2021年9月に実施した調査では、日本と海外24か国（Z世代：18～24歳519名、大人世代：25～69歳573名）を対象に、環境意識について尋ねました。





その結果、「気候変動」や「異常気象」などが危機的だと思っ
問題として挙げられました。

行動につながり にくい現状

しかし、環境に関して実際
に行動している若者の割合
は、それほど高くないよう
です。野村證券の調査では「自
分自身はSDGs/ESGを
意識して行動している」と回
答した割合は全体で約3割に

とどまりました。「地球環境を
犠牲にした経済活動を行う企
業」への反発感も強くありま
せんでした。

日本総合研究所が実施した
2020年8月の調査では、中
学生・高校生・大学生を対象に
ESGおよびSDGs、キャリ
ア等に対する意識を問いまし
た。その結果、「自分自身は
ESG/SDGsを意識して行
動している」と回答した割合は
中学生で25・7%、高校生で
28・9%、大学生で35・3%でした。

以上の調査から、若者は環境
問題への関心は高いものの、そ
れを具体的な行動につなげる
には至っていない人も多いこ
とが伺えます。

若者の 環境保護活動

では、実際に環境活動に取
り組んでいる若者たちは、ど
のようなアクションを起こし
ているのでしょうか。一般的
に広まっている活動として
は、海岸清掃やリサイクル、自
然保護活動などが挙げられま
す。また、若い人たちが発起人
となって、環境問題に関する
イベントを企画・運営した事
例も多いです。

環境活動を行う特定非営利活
動法人「A SEED JAPAN」
は、1992年にブラジルで
開催された「地球サミット」
（国連環境開発会議）の直前に
学生サークルが集まって発足
しました。環境を配慮した商
品流通調査などに力を入れ、
社会や他の若者たちへの働き
かけを行ってきました。環境

問題などの高まりを反映して
拡大し、既に30年以上の活動歴
を誇ります。

このほか、学生たちが地域
のスーパーなどの環境問題へ
の対応を調査して店ごとに評
価し、若者の消費行動の意識
変革に役立てようという活動
している事例もあります。食品
の包装や詰め替え製品の販売
状況、リサイクルの取り組み
などを調べ、その結果を情報
発信しています。

ナショナルジオグラフィッ
クが2019年に行った調査
では、若者は気候変動やプラ
スチックごみなどの環境問題
に対して高い関心を示し、ス
トライキやデモなどの抗議活
動に積極的に参加していま
す。また、若者はSNSを使っ
て情報を共有し、行動を起こ
す力を持っています。小さな
環境保護活動でも、SNSで
積極的に発信することで、その
輪が日本全国、そして世界に
広がる可能性があります。

2018年に消費者教育学
会が行った調査では、小学生が

ら大学生までの若者は、自分自
身も環境保護活動に取り組ん
でいると回答する人が一定数
いる一方で、「何もしない」とい
う割合も小学生では3割にの
ぼり、実践意欲にはらつきがあ
ることもわかりました。

環境問題に対する 若者の取り組みを 支援する制度

環境意識の高さを日々の行
動へと結びつけるためには、
若者の取り組みを支援する
制度を普及させることが大切
です。

具体的な例としては、環境
保護活動のための助成金制度
が挙げられます。持続可能な
開発目標（SDGs）に沿った
活動を行う団体や個人に対し
て、国や自治体、企業などが資
金を援助するのです。若者の
心の健康とウェルネスを促進
するプロジェクトへの助成金
や、自然と生物多様性の保全
プロジェクトへの補助金など
も、環境活動をさらに広める
契機になり得ます。

若者たちが環境問題に関する活動を行うことは、企業や自治体が環境問題に取り組むきっかけにもなります。国連や企業など多くの大人がかつてないほど若者の意見を聞くとしてしています。若い人たちが本気でやり続ければ、きっと声は届きます。

実際に若者の活動が世論や政策に影響を与えたケースもあります。例えば、グレタ・トゥーンベリさんが始めた「気候変動ストライキ」は、世界中で何百万人もの子どもや大人が参加し、気候危機への対策を求める声を高めました。

環境教育が大切

今の地球は病気といっても過言ではありません。環境への配慮が必要であることは分かっていますが、ポイ捨てや電気の無駄遣いなどを続けています。このまま大量生産、大量消費、大量廃棄が続けば、地球の持続可能性が失われる懸念は高まっています。

こうした現状を変えるには、幼少期からの教育も大切です。いわゆる環境教育です。さまざまな環境問題を解決し、未来のためにどんな選択が必要か自分たちで考え、選んで行動できる人々を育てる取り組みになります。

環境教育を通して、子どもたちが地球のありがたみを感じられるような多彩な自然体験の場を提供していく必要があります。子どもたちから環境についての意識が根付けば、環境破壊を助長するような行動を抑えるはず。これを個人レベルから地域、国レベルでつくり出せば、全体が進歩していくでしょう。消費者教育学会の調査でも、8割以上の若者は環境教育の必要性を感じていました。

環境教育のための指導者の育成も大切です。指導する側の人も、地球全体の環境のことを学んだ上で、幼児・児童らに知恵を授けたいものです。

地域や家庭の高齢者の力を借りることも有意義でしょう。

日本でも1950年代ごろまでは容器は再利用し、洋服は縫い、靴は修理して使っていました。ところが、安価で便利な「使い捨て」を始めてしまっただけで、大量の廃棄物を生み出し、環境に負荷をかけていました。今の祖父母の世代には、地球を傷めない形で幸せに暮らしていた知恵が残っています。

志を持ち続け、行動できるように

使い捨てを抑えるような質素なライフスタイルを実践することとは、とりわけ若者にとっては難しいと考えられていました。しかし、多くの若者は環境問題

を「自分ごと」としてとらえ、古い習慣を変えようとしています。大人よりも当事者意識を持ち、独自の環境文化をつくり出しつつあるように見えます。

生活にかかわるさまざまな問題を地球規模で考え、解決を目指す主体的に社会に働きかける。「地球市民」の芽が確かに育っています。若者が志を持ち続け、行動できるように、社会としての手厚いサポートが必要です。

かけがえのない地球と共生し、そのために必要な行動がとれる人材が増えることが、持続可能な社会の実現につながっていきます。



人間性回復



瞑想、呼吸
ホメホメ
FUN! FUN! FUN!

健康



HBCブレイン体操
地球市民1分運動
ヘソヒーリング

自然環境



クリーンアップ
災害支援
ライトダウン

教育



学校脳教育
ベンジャミン学校
福島プロジェクト

文化・アート



地球気功
ブレインアート
コンサート

イーシーオー

ECOは
5つの分野の
地球市民活動を
展開しています



- 参加方法**
- 1 YouTube「Earth Citizens TV」をチャンネル登録する
 - 2 ハッシュタグ「#私と地球のための共生健康法」をつけて、ご自分のインスタグラムに投稿する

選ばれた方には、
オリジナル年間カレンダーを
プレゼント♡



募集中
**あなたの
健康の秘訣教えて！**

実施期間：2023年3月15日～4月10日



ECOインスタイルイベント

ご参加ありがとうございました

**私を幸せにする
共生の瞬間**

1000件以上の投稿
ありがとうございました
地球の明るさ100%！
参加者の感想をご紹介します



何気なく通り過ぎていた風景にも
目を向けるようになった

他の方の投稿を見て、
自分の捉え方も変わった

私だけでなくみんなにも喜んで
もらいたいと思うようになった

投稿を見た人から、「頑張ってる」と
コメントをもらって嬉しかった

一般社団法人
Earth Citizens Organization



Earth Citizens Organization



YouTubeライブ配信では地球の
ための5分間瞑想を行っています！
その他にも地球や皆さんの
健康に役立つ情報を発信中！



Youtubeライブ配信や
イベント情報など配信中



インスタグラムでも、コラム
記事を読むことができます

共生ヒューマン



人も動物も植物も
真心と愛を食べて育ちます。

先に心を
与えられる人になりましょう。

自分のことを
誇らしく思える人になりましょう。

自分の人間性の器は無限だということが
わかる人になりましょう。

それが自分自身への
愛であり、信頼です。

献身や歩み寄り
完成へ向かう共生ヒューマンの
偉大な人間性であり、旅路です。

一指 李承憲